

(款) 25労働費 (項) 5労働諸費 (目) 5労働諸費

◎労政一般の経費

勤労者福利厚生事業 【 市民活動課 】

【総合計画上の位置づけ】

活力ある暮らしやすいまち

勤労者福祉:市内の企業で、勤労者の働く環境が充実し、安定的な雇用が図られているまち

【事業の目的】

対象 勤労者

意図 勤労者のために融資預託、住宅資金利子補給、その他の支援を行うため。

効果 勤労者の生活環境向上及び福祉の増進

【事業の内容】

(1) 融資預託事業

- ・市内に居住、勤務している勤労者の生活の安定と福利の増進を図るため、勤労者を対象として融資を実施する中央労働金庫に、運用資金を預託した。

(2) 勤労者福利厚生支援事業

- ・中央労働金庫から住宅資金融資を受けた勤労者に支払利子額の一部を、勤労者退職金共済機構等との新規契約者に掛金の一部を、それぞれ補助した。
- ・福利厚生事業を行う労働団体に補助金を交付した。

鎌倉地区勤労者融資機関利用状況

区分 使 途 別		新規貸出 (20.4~21.3)		貸出残高 (21.3 末現在)	
		件 数	金 額	件 数	金 額
中央労働金庫	住宅資金等	83 件	2,003,640 千円	826 件	11,565,654 千円
	生活資金	145	243,163	563	542,726
	合 計	228	2,246,803	1,389	12,108,380

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
199,620	199,620	198,113		1,507
主な支出内訳				
・ 融資預託事業				
中央労働金庫預託金				190,000
・ 勤労者福利厚生支援事業				
住宅資金利子補給金				5,694
中小企業退職金共済掛金補助金				1,749
三浦半島地域労働者福祉協議会補助金				670

平成21年度事務事業評価シート

創意・工夫・課題等改善状況	課題・問題点	(20年度事務事業を実施するうえでの課題・問題点は、どのようなことでしたか) ・ 住宅資金利子補給事業については、利用者数が低迷するなど住宅取得支援策としての効果が制度創設時に比べ薄くなっている。より有効な制度等を構築していく必要がある。
	創意・工夫・課題等の改善点 20年度の成果	(課題・問題点についてどのような創意工夫、改善をしましたか。また、どのような成果がありましたか) ・ 同様な制度を持つ県内自治体と情報交換を行うなど、見直しに必要な情報の収集や市内金融機関との意見交換を行った。
	未解決の課題・問題点	(20年度事務事業の取組において対応(解決)できなかったものはどのようなことですか) ・ 住宅資金利子補給事業については、利用者数が低迷するなど住宅取得支援策としての効果が制度創設時に比べ薄くなっている。より有効な制度等を構築していく必要がある。
	今後の方針 (対応・改善)	(上記対応できなかった課題・問題点について今後どのように対応(改善)していきますか) ・ 勤労者の住宅取得支援事業としてより効果的な事業の検討を継続する。

一次評価(課長評価)

今後の方向性	A:充実又は拡大 B:現状のまま継続	C:統合又は縮小 D:廃止又は休止	E:事業完了	C	改善の必要性 有
	住宅資金の利子補給は勤労者の住宅取得を支援する点で有効な成果を上げてきたが、最近では利用者数も減少傾向にある。しかし、勤労者の住宅取得支援を継続することは必要であると考えており、新たな制度の導入も視野に入れ勤労者の住宅取得支援施策を検討していく。				
担当課長氏名:		吉田 宗一			

二次評価(部長評価)

今後の方向性	A:充実又は拡大 B:現状のまま継続	C:統合又は縮小 D:廃止又は休止	E:事業完了	C	改善の必要性 有
	住宅資金利子補給事業については、制度の検討を行う。				
担当部名	市民経済部	部長名	相澤 千香子		